

障害があっても 地域で安心して暮らすために必要なこと

おめめどうグッズを使った
視覚的支援の実例とともに

発達について

不登校について

自閉症/発達障害や不登校、緘黙など
どんな子どもたちも安心して毎日を過ごせるように、
大人にできることをいっしょに考えてみませんか？

支援者の立場・親の立場での、視覚的支援をベースにした取り組みから、日々の関わり方についてヒントを見つけてみましょう。

子育て中の親御さんや、日ごろ支援をしている方、地域の方にも、ぜひ聞いてほしい内容となっています。

子どもの
権利について

緘黙について

講師
NPO法人ゆめふうせん
理事長
平岡 安美 氏

ゆめふうせんの
取り組み

視覚的支援の
ある暮らし

講師
北九州在住
大津 泰子 氏

小学校教員を早期退職後、おめめどうの支援をベースにし、放課後等デイサービス3か所、自立訓練、フリースクール、通信制サポート校等の事業を展開中。2025年5月に10周年を迎え、全国から視察、見学が絶えない事業所となっている。



自閉症の息子が幼児期の頃からおめめどうグッズを使いはじめ、19年。息子も成人し、家族それぞれ自立して、そこそ良い感じに暮らせるように。支援者としても青年期～老齢期の支援に携わっている。

日程 2026年6月28日(日)

場所 相知交流文化センター
研修室B

内容 9:30～ 受付開始

10:00～ 講師紹介

10:05～ ゆめふうせんの取り組み

10:50～ おめめどうグッズのある暮らし

11:35～ 質疑応答

12:00 終了予定

参加費 無料

定員 50名

対象 どなたでも

申し込み 右記QRコード または
✉smile087smile@gmail.com まで



主催：障害児とその家族を応援する会Smile

後援：唐津市 唐津市教育委員会 唐津市社会福祉協議会

この講演会は【佐賀県障害者ボランティアグループ等支援事業補助金】の助成を受けて実施しています